

保育園での異文化体験エピソード



その3 プレゼント



運

動会の後、園長先生から「がんばったね」と、全園児に、紙袋に入ったプレゼントが配られました。待ちに待ったおやつのはじめ合わせです。みんな、バッグに入れて、お家に帰ってからの楽しみです。

「何が入っているかな？」

しかし、アメリカからやって来たBちゃん（3歳）は、その場でプレゼントの紙袋を思いっきり豪快に破って開けてしまいました。

「園長先生！ すごいお菓子！」

ほかの子どもたちはびっくり。袋を破るしぐさも、すぐに開けてしまうことも、あまり経験したことがないことなので、子どもたちはBちゃんをなじりはじめました。

「いけないんだよ～」

じつは、欧米では、もらった人の前でプレゼントをすぐに開けて、喜びを表現するのが礼儀です。開け方も大胆で、日本人は少し驚くかもしれません。でも、喜びの表現なので、怒らないであげてくださいね。

海外の映画やドラマなどを見ると、確かに、プレゼントはその場で大胆に開けていますよね。

（保育国際交流運営委員会前委員・齋藤祐善）

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp

イラスト・うつろあきこ